

南アルプス世界自然遺産登録推進アピール

南アルプスを世界自然遺産へ。

山梨、長野、静岡の3県にまたがる我が国を代表する山岳地帯である南アルプスについて、世界自然遺産への登録を目指していこうとの機運が、県境を越えた大きな高まりをみせる中、我々、南アルプスに関係する韮崎市、南アルプス市、北杜市、早川町、飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村、静岡市、川根本町の10市町村は、英知を結集し、相互に連携、協力していくため、「南アルプス世界自然遺産登録推進協議会」を設立するに至った。

世界自然遺産は、地球規模での顕著で普遍的な価値を有する自然であり、地球上から失われてはならない人類共有の唯一無二の遺産である。

我々は、ここ静岡の地において一堂に会し、南アルプスサミットを開催することにより、南アルプスが、世界自然遺産にふさわしい価値を有することをあらためて確信するとともに、その傑出した自然環境を将来に継承していくため、世界自然遺産登録に向けた取組みを加速していくことを決意した。

そして、南アルプスの世界自然遺産への登録を目指し、その取組みへの参画を、南アルプスに関わるあらゆる主体に向けて、ここに強くアピールする。

1 南アルプスの学術的知見の集積に向けて

南アルプスの世界自然遺産登録に向けて、地球規模での顕著で普遍的な価値に一層の磨きをかけていくため、更なる学術的知見の集積が必要となる。

そのため、南アルプスの自然環境に関する調査研究の実施を関係機関に強く要請していくとともに、我々も、様々な専門家との連携のもと調査研究を推進していく。

2 南アルプスの自然環境の保全に向けて

南アルプスの世界自然遺産登録に向けて、その傑出した自然環境を保全し、将来に継承していくことが必要となる。

そのため、南アルプスの実態に即した自然公園法等の関係法令の適用はもとより、喫緊の課題である高山植物に対するシカの食害への対応を関係機関に強く要請していくとともに、我々も、関係機関との連携のもと保護管理体制の構築に努めていく。

また、エコツーリズム推進法制定を契機として、自然環境の保全と観光振興、地域振興の調和を目指すエコツーリズムの一層の推進を目指していく。

3 南アルプスの情報発信に向けて

南アルプスの世界自然遺産登録に向けて、南アルプスの多面的な価値への多くの人々の理解の促進が必要となる。

そのため、関係機関との連携のもと、情報化社会の進展を踏まえ、あらゆる機会を捉えて南アルプスの情報発信を行っていく。

平成19年7月28日

南アルプス世界自然遺産登録推進協議会